

西浜中学校校歌

昭和26年11月7日制定

西村忠義作詞
小泉 恵作曲

J=102

mp

さあす やかにゆればる ゆきしらはまいて ののを なみみにひめり一にはてひあり一
さひこのぼるは にせばいらんかのは いてののを なかすみめにはてひあり一
いへいせんは せばいらんかのは いてののを なかすみめにはてひあり一

mf

たそろ るにか ぎちこ ぎんりんりこべ んのんがね いいいい ろろろ ぎよしゅうはしろき
かりがねいまや しらとりしろき

f

しぶきをけつてとろまきずはしわたるるははわめしるるほうましよし
つばさをくんでとたゆまかにわめためぐるるははめたぐるほ一きよしょ
はねふるわせてはねふるわせてとたしゆまかにわめためぐるるははめたぐるほ一きよしょ
みや

mf

つうく いいやざつ ほわく とばうしき しどよ るのは おみわのなれ おぎらのちいがむ かきね
かきね

らをに たつのないだみぎき てててくくくおおおんんんののたたた びびびををを ゆゆゆけけ
けけ

二、

一、さやかに揺れる雪白浜の
波に秘めたる銀鱗の色
漁舟は白きしぶきを蹴つて
とどろき走る走る泡沫
いやほとばしるおのれの力
頼みて久遠の旅を行け

二、朝日子昇る日本海の
波は荒磯に散る黄金色
雁がね今や翼を組んで
たゆまず渡る渡る裾礁
いざ若人のみなぎる意氣を
つなぎて久遠の旅を行け

三、水平線は世界の果てを
かすめてはろか金碧の色
白鳥白き羽ふるわせて
しづかにめぐるめぐる水脈
美しき世は我等が胸に
抱きて久遠の旅を行け